



Rotary 寒川ロータリークラブ



子どもたちと寒川の未来をつなごう ～さらに先の50年へ～
『応援しよう 寒川の子どもたち』

事務所: 〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山7番地 サンワビル2F
TEL 0467(73)0046 FAX 0467(74)0027
例会場: 寒川神社参集殿 例会日: 月曜日 18:30
会長 小澤千明 幹事 中野雅之

会報委員(クラブ管理運営委員会)

石丸博久 眞原 浩 石井峻太 石腰 亮 井上 稔 入澤 章 加藤幹広 三澤京子 吉田武史

第2310回例会 2025年1月27日(月) 晴れ時々曇り

司会 島村副幹事

斉唱 我らの生業

ソングリーダー 井上稔クラブ管理運営委員

メイクアップ 【本日分】 三澤会員(茅ヶ崎湘南RC)

会長の時間 小澤会長

アメリカでトランプ大統領が就任して1週間が経ち、大統領令を連日連発しています。あれだけ大統領令を連発して世界各国がそれに戦々恐々としているところを見ると、アメリカにはこういう強いリーダーが必要なのもかもしれないと思ってきました。対して日本の総理大臣は「楽しい日本」なんてよくわからない事をおっしゃっていました。ちょっと不安になりますよね。不安といえば日銀も政策金利を上げるという話です。円安だから上げるとか、人件費の問題があるから上げるっていうのが、どうもちょっと私にはよくわからない。この国は今後どうなっていくのかなと心配になりました。今日は寒川青年会議所の坪川理事長、グエン・ジョニー専務にお越しいただきました。快く卓話をお引き受けいただきありがとうございます。地域社会に貢献するというJCとロータリー共通の思いを持った団体がこうやって交流できるというのは本当に素晴らしいことだと思います。1月8日、JCさんの賀詞交歓会に私も出席させていただきました。その時に理事長の話を知ったらスタートは9名ということでした。私が卒業した時には10人ぐらい一度に卒業しました。元々50人ほどいましたので、例会も遅く行くと

入れないくらいでした。そんな感じだったので9人という人数に私もすごくびっくりしてしまって心配になりましたが、賀詞交歓会の時の坪川理事長の素晴らしい所信表明を聞いて今年度のJCが楽しみになりました。ロータリークラブとJCというのは、形は異なれど社会奉仕の精神というのは同じです。こうした奉仕団体が共存して、それぞれの視点でいろいろな課題に取り組んでいく。そういうことで地域社会に大きなインパクトを与えることができるのではないのでしょうか。JCはご存知の通り20歳から40歳までの限られた若者の集まりです。挑戦と学びを繰り返しながらリーダーシップを磨いていく。対してロータリークラブは経験豊富なビジネスリーダーや専門家が中心となった団体です。成熟した視点で物事を捉えていく、世界規模の課題に取り組んでいくという、そんな団体です。いわば「若さと経験」、そして「挑戦と安定」。このバランス感覚で物事を考えていくことが大切だと思います。JCの若い世代の皆さんの情熱と、私たちロータリアンが蓄積してきた経験が交わる時、そこに新しい可能性が広がるのではないのでしょうか。寒川町は5万人足らずの町ですがその中に奉仕団体は、JC、ロータリークラブ、ライオンズクラブ、国際ソロプチミストが

出席報告

| 会員数 | 出席計算会員数 | 出席会員数 | 暫定出席率 | 確定出席率 |
|-------|-------------------------------------|-------|--------|-------|
| 37名 | 35名 | 28名 | 80.00% | |
| 本日欠席者 | 石井会員、石丸会員、加藤会員、吉田会員、椎野会員、山本哲会員、中野会員 | | | |

あります。昨年、我々は「インクルーシブなスポーツイベント」を行って青少年の方に向けた事業をしました。JCもこのところ割と青少年関係の事業を行っていますよね。いわば、同じ目的を持って奉仕活動しているわけですから、何かイベントなどがあつた時にはロータリーとJCとが同じ方向を向いて協力し合えば、1+1が2ではなく、5にも10にもできるのではないかと思っています。山本会長エレクト年度が7月から始まります。青少年関係の事業をやりたいという話も聞いておりますので、是非今後とも協力関係を保ちながら、何か協力できることがあつたら一緒にやって行きましょう。広い視野を持ってお互いに社会に貢献していきましょう。よろしくお願いいたします。

幹事報告 中野幹事

例会変更

綾瀬春日、茅ヶ崎、茅ヶ崎中央、綾瀬、各RC

週報受理

寒河江RC

その他受理

●寒川神社

～紀元祭・祈年祭・天長祭齋行案内 {紀元祭:2/11(火)
10:00～ 祈年祭:2/17(月)10:00～ 天長祭:2/23
(日)10:00～} (会長参列予定)

回覧

○タウンニュース1/24号

出席報告 石腰クラブ管理運営委員

委員会報告・地区および地域出向者報告

奉仕プロジェクト委員会 村松委員長

来週2月3日の例会はお昼の例会後、事業所訪問となります。ジェイコム湘南・神奈川 湘南局。辻堂の方に見学に行かせていただきます。まずお昼ということをお間違えないようお願いします。12時からこちらで食事、12時半点鐘で例会を行い、その後車の乗り合せて辻堂に向かいます。よろしくお願いいたします。

国際奉仕委員会 下里委員長

台北士林RC創立49周年記念訪問ということで、今のところ出席者は9名となっています。この後例会が終わりましたら参加者の皆さんに少し残っていただき、決めたことがありますのでロビーの方にお集まりください。よろしくお願いいたします。

親睦活動委員会 茂内委員長

本日、3月24日(月)の寒河江RCから4名の方がメイクアップに来られる花見移動例会と翌25日(火)のゴルフについて出欠表を回覧しています。理事会はまだ通っていませんが、取り急ぎ人数を把握したいので回覧させていただきます。ご記入よろしく願いいたします。

同好会報告

なし

第2310回スマイルボックス

眞原クラブ管理運営副委員長

合計31,000円

◎小澤会長・中野幹事

皆さま、寒い中例会出席ご苦労様です。本日は寒川青年会議所 坪川正樹理事長、グエン・ジョニー専務、お忙しい中卓話にお越しく下さりありがとうございます。よろしくお願いいたします。

◎鈴木郁男会員

坪川理事長、本日はスピーチよろしくお願いいたします。

◎椎谷会員

2月4日は第273回ゴルフコンペが平塚富士見大磯コースで開催です。メンバーの皆さま、風邪などひかぬよう体調を整えて参加してください。

◎青木、秋本、石腰、石塚、磯川、井上(晋)、井上(稔)、内野、金子、菊地、茂内、島村、清水、下里、高波、中村(光)、中村(靖)、藤、二見、眞原、三留、村松、森嶋、山本(和)、各会員

一般社団法人 寒川青年会議所

第52代理事長 坪川正樹様

私は駅前で歯科医院を開業しています。父が40年前に開いた歯科医院を引き継ぎ、今年で5年目となります。昨年、「坪川歯科医院」より「湘南予防歯科医院」に変え、今後も地域の皆様のために「口の中から自信が持てる・自分の自信につながる」そんな未来につながるような事業をしていきたいと思っています。昨年は1月1日から能登地方で地震災害があり、そして豪雨災害など、自然災害の大変な被害のあつた年でした。本来であれば昨年コロナ禍が明け少しずつ経済もよくなり、人々の動きも活発になるのかなと思っていたところの1月1日だったので、先行きがちょっと危ぶまれるようなスタートでした。政府の発表からは税収が最高だったとか企業の内部留保がかなり増えたとかと言う話もありましたが、好景気なのか?と問われると私の周りの地

域ではそんな感じには思えませんでした。大企業では春闘で33年ぶりに5%以上の賃上げがありました。一般の企業、私のような中小企業ではそこまでは到達しなかったと思います。今後、経済がどうなっていくのかわかりませんが、「自分たちは景気が良くなった」「賃金には反映されないとしても生活がちょっと良くなったよ」「ちょっと楽しいよ」そんな風に思える未来を作りたいと思っています。地域に事業を働きかけ、少し楽しい思いをすることがきっかけとなり、今後、町が少しずつ上向きに、町民の皆様の気持ちが上向きになっていくのではないかなと思っています。寒川青年会議所としての目標は「明るい豊かな社会を築き上げる」。それが一つの大きな理想となっています。これは、地域に少しずつ働きかけ「小さな明るい未来を見せていく」「地域の発展を願う」。そういうことがまさしく私たちのすべきことではないか。対外的な理想が「明るい豊かな社会の創造」ということになりませんが、翻って内向きにも目標があります。「奉仕」「友情」「修練」。これは自分たちも成長して行くそんな組織であり、関わった人が「関わってよかった、成長した」と思えるような組織になりたいと思っています。現在、寒川青年会議所の会員は期首で9名となっており、諸先輩方の時期からは非常に少なくなってしまっています。現在の状況に関しては、「おいおい、大丈夫か」「今後、青年会議所はやっていくのか」。また、個人個人の実力に関しても歴が浅いので「今時の若者は…」と、もちろん、そう言われると思います。諸先輩方には心配ももちろんあると思います。が、安心して下さい。私たち青年会議所は一步一步成長します。今の状況からさらに今年が終わった時には「少し良くなっている」「少し成長している」そんな姿を見せ続けることが、私たち現役の寒川青年会議所のメンバーの役割でないか。そのために地域の明るい未来に向けて少しでも何かして行きたいと思っています。今年度の寒川青年会議所には二つの強みがあります。昔は委員会がたくさんあったと聞いていますが、今は事業を行う委員会は二つしかありません。一つは「総務委員会」。これは内向きの研修などを受け持ちます。もう一つが、「まちづくり委員会」。こちらは対外的なものです。総務委員会の委員長は藤沢で「(株)風像」という映像会社を経営している三澤拓也君です。彼は映画監督です。昨年入っていただきまだ入って半年ですが総務委員長の職を担っていただきました。彼は映像のプロです。昔、諸先輩方が発行していたJCジャーナルという広報誌を復活して、現役が何をしているのか発信できるのではないかと考えています。それは紙面やホームページではなく動画配信でできるかもしれません。もう一人は駅前にある「二羽の燕」という焼鳥屋さんの店主 内山雄太君。昨年入っていただきました内山君は非常にや

る気に溢れております。彼は寒川の駅前に活気を取り戻すために寒川駅前にお店を出したそうで、どちらかというと若者に向けて何か働きかけができるのではないかなと思っています。映像のスペシャリストと、飲食:特に飲み屋さんのスペシャリスト。この2人が委員長となって寒川青年会議所は今年、さまざま町のことを考えて事業を構築して行きたいと思っています。その中で大事にしたいのが、私たちの魅力の発信。本当は寒川の魅力をもっと対外的に届けたいのですが、まだそこまでは手が回りません。今、私たちは町のことを考え、悩んで悩んで事業を構築しようと思っていますが、何か事業を起こしてそれが完成したとしても、町の人は何も知らなければそれは町の人々の生活が少し良くなったとは言えないと思います。本年度は私たちの行動、私たちの作るプロセスまで含めて町の方々に公開し、自分たちはこんなに悩んで考えているよ、こんなに楽しく事業を構築して、そして当日も苦労もたくさんあったけど頑張ったよ。そのような映像が町の方々に少しでも届けば、青年会議所の存在意義や、町のために頑張っている人たちがいることを町の方々に感じていただけるような発信ができるのではないかなと思っています。魅力の発信と言うのは決して町の人だけに向けたものではなく、私たちは本年度顔の見える関係を様々な団体と作っていきたくと思っています。青年会議所のシニアクラブへも実際に映像を見ていただくことで、頑張っているんだ、こういうことをやっているよということが目に見えて伝わるようにしたいです。同様にロータリークラブの皆様にも、そして町の関係諸団体の皆様にも、「ポツと来て何かお願いをして去って行く」「普段何をしているのかわからない」そのような団体でなく普段から様々な行動をして町のことを考え続け、自分たちも成長して行く。そんな、できれば応援をもらえるような団体に私たちが成長して行きたいと考えています。今年度は映像の武器があるとお話しましたが、その中で私たちは関係諸団体と少しでも関わりを持ち、そして、その中で青年会議所は人数が少ないからこそ応援してあげてもいいかなと思ってもらえる、そんな関係を様々な団体と作り上げていきたいと思っています。本年度私は寒川青年会議所のスローガンを「Think together, Grow together 皆で考えて、みんなで成長して行く」としております。自分たちは人数が少なくなることによって諸先輩方から今までの51年の歴史を引き継ぐと言う事が正しくできていなかったかもしれません。その中で私たちは何者なのか、町のために何をしているのか、どうしてこういう行動をしているのか、ということと一緒に考え、そして、成長して行動する。そのような団体になって行きたいと思っています。そのためには、毎年のお願いでございますが、ぜひ、諸先輩方には青

年会議所に少しでも興味がありそうな若い方がいれば紹介していただき、一緒に町が少しでも明るくなる行動を起こせる仲間を探しています。ぜひ皆様のご協力もいただけたらと思っております。今年は十干・十二支(じっかん・じゅうにし)で言えば「乙・巳(きのと・み)」。殻を破って成長するという年です。蛇は脱皮をして成長する。私たちは「乙・巳(きのと・み)」の今年、少しでも殻を破って成長していく団体になっていきたいと思えます。実際には私たち青年経済人としての活動はあまり向上している実感がないと言いました。でも私たちが頑張ることによって、ひょっとしたら、給料は上がらないかもしれませんが「生活でちょっと楽しいことができたよ」「こんなイベントがあったよ」と思って頂ける事もあるのではないかなと思います。今年一年、わたしたちが挑戦してそれが少しでも届くように努力致しますので、皆様のご協力をお願いいたします。

